

砂防事業 事後評価結果

担当課 : 砂防防災課

担当課長名 : 金山 壮一郎

事業の概要

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県つるぎ町一宇	箇所名	中野地すべり防止区域		
事業概要					
横ボーリング工 L=3,570m					
事業の目的・必要性					
<p>当区域においては、市道擁壁の変状やクラックなど地すべり兆候が多数見受けられ、人家25戸及び国道750m、町道1,800mなどに被害を及ぼす恐れがあり、早期の対策が必要であった。</p> <p>このため、平成21年から地すべり対策事業を再開し、地下水を排除する抑制工を実施し、国土の保全及び民生の安定を図る。</p>					
総事業費		148百万円			
事業概要図・写真					
 <p>徳島県 TOKUSHIMA</p> <p>施工箇所</p>		 <p>計画平面図</p>			
 <p>完成写真</p>					

事業評価結果

事業効果等	評価項目	評価内容
	①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	計画全体事業費140百万円→精算全体事業費148百万円 計画工期H21～H26→実施工期H21～H28 着手時B/C=6.7→完成時B/C=14.7
	②事業の効果の発現状況	・保全対象の人家25戸や緊急輸送路の指定されている国道、さらに地域防災計画に記載されている避難所の「定光寺」を保全するとともに、町道崩壊による集落の孤立化の防止が図られた。
	③事業実施による環境の変化	・地形の改変が少なくなるような工法を選択をした。
	④社会経済情勢の変化	・当地区では事業着手時から保存人家が28戸から25戸に減少したが、高齢化が進んでおり、自力では避難が困難な住民が増加したため、土砂災害に対する意識が高まった。
	⑤課題と今後の事業への反映	・当区域は湧水を生活水として利用する住民が多く、地下水排除工の実施に際して調整に時間を要した。今後とも事業に影響する関係者との調整を説明会等により積極的に実施し、円滑な事業進捗を図りたい。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用		総便益	
	着手時	平成21年	6.7	145	工事費、調査費	965	人家28戸、避難所等
	完成時	平成29年	14.7	206	工事費、調査費	3,020	人家25戸、避難所等

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。